※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化科	科目	(学)日本語文化Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語の言葉や漢字、文法の学習（N1 レベル、国語の教科書レベル）を主体的にし、日本語の習得を目指しましょう。
・日本語の 4 技能の習得を目指し、自分の考えを作文や発表などを通し伝え、日本語の表現力を身につけましょう。
・本文の内容について整理し、理解を深め、日本語文化についての理解を広げましょう。

2　学習の到達目標

・日本語を母語としない生徒が、日本語で聞いたことや読んだことを理解し、日本語で自分の考えなどを話し、書くための発展的な能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・学術的な内容のさまざまなジャンルの読みものを読み、日本語文化について理解を深める。	・アカデミックな文型や文法事項の理解をすすめ、学習言語としての日本語が活用できるようにする。	・日本の文化について、生徒自身のルーツとする文化と相対化しながら学習する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		日本語の言葉	a：N2・N1 レベルの語彙や言葉を理解できる。漢字の音訓の違いを理解し、正しく読むことができる。 b：物語文、説明文など多様なスタイルの日本語で書かれた文章を正しく発音できる。 c：日本語の語彙や言葉について、意欲的に理解しようと取り組み、表現するために努力できる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
		日本語の文型	a:アカデミックな日本語で書かれた文章の概要を理解できる。 b：主体的に日本語の辞書等を使い、言葉や文型、内容について調べ、意味を正しく理解できる。 c：日本語の文型について、意欲的に理解しようと取り組み、理解した内容を自分でまとめて、発表できるようになる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
2学期		日本語の文法	a:N2 レベルの文型を使った文を正しく書くことができる。 b：動詞、形容詞を正しく活用させ、助詞も正しく使用することができる。 c：日本語の文章の内容理解について、意欲的に理解しようと取り組み、　自分の気持ちや思いを文章で表現することができる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
		日本語の語彙	a：日本語の語感、細かなニュアンスを理解できる。 b：日本語の慣用表現、オノマトペの意味を理解でき、表現できる。 c：日本語の語彙を増やし、多様な文章を読み、意欲的に理解しようと取り組むことができる。さまざまな状況を自分の言葉で表現し、発表することができる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
3学期		まとめ	a：アカデミックな日本語で書かれた文章を読み、内容を適切に理解できる。 b：自分の意見や自分が調べた情報を、既習事項を踏まえて、書いたり話したりすることができる。 c：意欲的に日本語を使って表現したり、深くまで研究したりして、日本語や日本文化について理解を深めようとしている。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用